

KAS

風の谷

びゅう  
VIEW

社会福祉法人 風の谷

相模原市田名7236-3

発行責任者 政野 光廣

042-760-1033

<http://www.kanagawa-id.org/yamabiko/>

e-mail: [ykoubou@pastel.ocn.ne.jp](mailto:ykoubou@pastel.ocn.ne.jp)



【2005年 新年号】

新春の挨拶（理事長）

P 2

新春の挨拶（やまびこ工房）

P 3

新春の挨拶（やまびこ工房職員）

P 4・P 5

後援会

P 6

発行人 神奈川県自閉症児・者親の会連合会 代表者 佐藤 辰男 厚木市中依知85-1-321

毎月15日発行

購読料1部 50円

～ 理事長より ～

## 新年のご挨拶

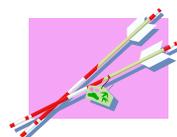
明けましておめでとうございます。皆さまには新たな気持ちでご活躍のこととお慶び申し上げます。

昨年は、異常気象や水害、中越地震や18万人を達する犠牲者をだしたスマトラ沖地震に由来する「Tunami」とまさに、世界規模の「災い」の年でありました。ご冥福をお祈り致します。地震などの災害が起きる度に、ふと脳裏をよぎるのは、災害の混乱を上手く理解できない自閉症者や家族の人達の苦勞のことです。中越地震でも避難所には行けず。車の中で母親と何日も過ごしたとの報に触れ、あらためて災害時の障害者支援プログラムの充実を願った次第です。

正月の早々に嬉しいニュースが入ってまいりました。私たちをいつも支援して下さっている佐々木正美先生の朝日社会福祉賞の受賞の知らせです。相模原でのTEACCHプログラムセミナー開催、やまびこ工房の前身である「やまびこ作業所」の開所に当たっての佐々木先生の指導や助言、何よりも相談相手の意見を肯定的に受けとめての先生の助言に、多くの親たちが、「何とかなるかもしれない！もう少し頑張ろう。」と勇気づけられたものです。また、私自身も法人運営に係わる者として、佐々木先生が講演で紹介して下さったレオ・カナー教授の言葉を常々思い出します。「子供に本当の愛情が湧くまでは、何もしてはいけない。治療者や教育者は子供に何かする前に、自分は心からこの子を愛しているのか、自問自答するように。子供への愛情が自分の中に芽生えていなかったら、その手を引くことである。この子を本当に愛していると実感できたら、どうしようかと迷う必要はない。何をしてもそれはほぼ正しいことになる。」 自己選択・決定、利用者本位などの理念に通じる大切な言葉だと思います。

さて、支援費制度の見直し、応益負担、介護保険との統合など、揺れる障害者福祉と言われる現状ではありますが、この様な状況の中で工房の運営に係わる法人として成すべき事は、先を見る目と自らの弱点や強みを整理、認識し、強みを伸ばし、魅力あるサービスを提供する事にあります。また、変化を担える人材の育成と風土作りも急務であります。職員ともども、風の谷の強み、弱みを再確認すると共に、支援に関わる人達の育成、個別ニーズに対応した魅力あるサービス提供に邁進したいと思います。

社会福祉法人風の谷 理事長 政野光廣



あけましておめでとうございます。皆様には、すばらしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、世界では、未だ戦闘状態が続き「終わり」の見えないイラク情勢、ニューヨークマンハッタン9・11テロとその報復に伴うテロの連鎖が世界各地に飛び火するなど、不穏な状況が続いています。さらにはスマトラ島沖の地震による津波では未曾有の被害が出ており、多くの邦人もその犠牲になりました。一方、国内でも台風の度重なる上陸に伴う風水害や新潟中越地震の発生等により、各地で大きな災害に見舞われるなど暗い話題の多い昨年でありました。

福祉の現場でも支援費制度の財政破綻から始まった、応能負担から応益負担への流れがさらに加速しようとしています。今年はぜひとも「雨降って地固まる」といきたいところですが、とてもそのようには行きそうもない情勢です。

やまびこ工房はたとえ取り巻く情勢がどのように変わろうとも、「地域でのより自立した生活を長期にわたり安定的に支援していく」という支援方針に変わりはありません。そしてそれは今後も目標としなくてはならないことであろうと考えています。この方針を堅持していくためには、法人の経営努力、スタッフ一人ひとりの意欲と自己研鑽の努力、後援会・家族会のご協力はもちろん欠かせません。しかし「根性論」だけで安定的に支援を継続することもまた困難です。「発達障害者支援法」が成立したことを追い風として、日々ご協力をいただいている相模原市当局と密接に連携し、必要とされる支援を安定して提供できる新たな仕組みを、知恵を出し合いながら作り上げていかねばならないと考えています。そしてそのような積み重ねが、いかに困難な障害を伴う方であっても地域の一員として尊重され、心豊かに暮らせるような福祉社会の実現に結びついていくことを願い、皆様とともに歩みを進めていきたいと考えております。本年もどうぞよろしくお願いたします。

やまびこ工房 施設長 中島博幸

新年あけましておめでとうございます。

昨年はアテネオリンピックがあり、金メダルラッシュに日本中が沸いた一年でした。ですが、続けざまに起こった自然災害にそんな話題も吹き飛ばされてしまいました。その傷跡は今も深く残っており、さらには感染症の流行など二次災害も懸念されています。被災者やその関係者の皆さんは大変な思いをされていると思います。中には障害者とその家族の方も大勢いると思いますし、彼らの置かれている状況は一層厳しいものだと思います。一日も早い復興を望んでやみません。

さて、障害者福祉の世界でもグランドデザインという大きな波が起こっています。三障害の統合を目指すなどその理念は素晴らしいものですが、利用者負担の増加など不安な要素も多く手放して歓迎するわけにはいかないようです。財源不足など厳しい現実を踏まえると、改革は必要なことだと思いますが、障害者主体の福祉を忘れずにありたいと思います。

相模原自閉症支援センター 統括主任 大竹 誠

新年明けましておめでとうございます。

昨年12月3日にご本人、親さんにとっては待望の“発達障害者支援法”が法案化されました。このことは、自閉症専門の施設である「やまびこ工房」にとっても、大変重要で大きなことです。今までも発達障害だとはわかっていたことだし、自閉症についても理解してきたつもりです。でも、それが法律になるのですから、職員に対してより専門性が問われることになり、その責任も増すことでしょう。ですから、この法案により発達障害という困難さを抱える人たちへの理解が増し、本人はもちろんのこと、支援者に対しても正当な評価がされればと思います。そしてなにより、この法案はまだ生まれたばかりの未成熟なものであると思います。これを育てていくということも、ご本人、親さん、支援者の努めだと思います。どこかに押し付けるだけの三位一体になることのないように、三者の立場でともに協力していける環境を築きたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

やまびこ工房 主任 西村三郎

## やまびこ工房職員

### ～ 今年の抱負 ～

わかりやすい生活、  
楽しみに出来る仕事、  
不安のない娯楽  
(薬師丸)



一日二膳！  
(谷澤)

今年もより一層利用  
者さんの立場に立った  
支援を目指してがんば  
ります。よろしくお願  
いします。(岩原)

新しい年を迎え、気持ちも新たにより一層の  
向上を目指して、目標を見失わずに頑張ってい  
きたいと思います。今年も宜しくお願いします。  
(越山)

この度、嘱託職員としてグループホームを任せられる事になりました。まだまだ勉強段階ではありますが、グループホームとしてしっかり機能させ、利用者さん一人一人が充実した生活を送れる様に努め、職員の方、又、保護者の方々と手を取り最高のグループホームを一緒に作っていかれたらと思います。  
(新城 崇徳)

生年月日：1976. 12. 23

出身地：神奈川

星座・血液型：山羊座・B型

趣味・特技：ボウリング・ビリヤード

資格：介護福祉士

その他：新婚ほやほや♡♡



毎日を大切に  
してよく学び、利用  
者さんとの心の通  
う支援ができる様  
に頑張る。(細谷)



利用者さん達が笑顔で毎日を  
過ごせるように、仕事と余暇の  
両面から関わってゆきたいと思  
います。私生活でも昨年父とな  
り、また新たな気持ちで臨みた  
いと思います。(鹿野)

今年は、笑顔を絶やさず自己成長を目標に、プライベートでは「酒は飲んでも飲まれるな」をモットーとして頑張りたいと思います。本年もよろしくお願ひ致します。  
(寶山)



彼らの本当の言葉を聞く事ができたら何て言うのかな？そんな事を思いながら日々過ごしています。「今、辛い、楽しい、こうして欲しい」そういった心の声を理解する努力をしていきたいです。  
(二ノ宮)

今年の3月で3年目になります。力みすぎず、気を抜きすぎない様、頑張っていきたいと思ひます。  
(宮崎)



ゆっくりと待つ事。見守る事を忘れずに、利用者さんと関わっていききたいと思ひます。笑顔でがんばります。  
(滝田)



本年の抱負として文字で決めさせていただきました。今年は「行」と「学」ということで、常に学ぶ意識とそこで得た知識を実践する姿勢をとり続けながらより良いサービスを作っていきたいと思ひます。  
(野田)

初心忘るべからず、また新たな気持ちで頑張りたい。僕にとっては第二章のスタートです。  
(村田)

日常生活で得られる身近な情報を大切にして、自閉症の人の立場にたって支援をしていきます！  
(渡辺)



利用者さん達とたくさんのコミュニケーションをとり、今、何をしたいのか？何を気にしているのか？何が楽しみなのか？細かいところまで知りたいと思ひています。来年も笑顔の絶えない明るく、楽しい毎日を過ごせる様、がんばります。  
(安岡)

\* 『夢』、『希望』これら作品は、舟部英利さんが書いたものです。

## 風の谷後援会便り

新年明けまして、お目出度うございます。  
本年度の最大行事であります、チャリティ公演を成功させるため役員一同頑張っています。皆様の御協力をお願い致します。  
後援会会長 中塚 清

自閉症者支援のための

# チャリティ公演

炎の響き、大地の鼓動！

相模龍王太鼓

北の大地、魂の音色！

津軽三味線

愛川町が生んだ演歌の歌姫

愛川真希

出演者 相模龍王太鼓保存会・竹崎俊行他・愛川真希



日時 2005年2月12日(土) 開場 PM1:00 開演 PM1:30

会場 相模原市立あじさい会館ホール

入場料 前売券 ¥1,300 当日券 ¥1,500

問合せ やまびこ工房 TEL 042-760-1033

主催 社会福祉法人風の谷後援会

後援 相模原市社会福祉協議会

相模原自閉症児・者親の会(やまびこ会)

### 風の谷後援会のご案内

風の谷後援会は、自閉症者の自立と社会参加を目指す『社会福祉法人 風の谷』を支援することを目的にしております。主旨に御賛同頂き、皆様の温かい御支援を頂きますようお願い申し上げます。

一般会員 一口：3,000円/年間 団体会員 一口：10,000円

一口以上、何口でも承ります。現金を添えてのお申し込みも承ります。

### お問い合わせ先

〒229-1124 『風の谷後援会』事務局

相模原市田名7236-3 社会福祉法人 風の谷 内 TEL：042-760-1033 FAX：042-760-7115

郵便振込先 口座番号 00230-1-15345